

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600821	事業の開始年月日	平成16年10月1日
		指定年月日	平成16年10月1日
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ横浜いずみ		
所在地	(245-0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町5246-2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	通い定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成21年10月21日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・閑静な住宅地の中に有りながら、畑も点在し、のどかでどこか懐かしい雰囲気です。ホーム敷地内にも菜園があり芋掘りや野菜の収穫、花の観賞など庭も充分楽しめる環境にあります。

・利用者様が楽しくホームでの生活を送れる様に買い物、散歩、外気浴等の機会を作っている。また、ボランティアの方々による書道教室、紙芝居等の催事も行ってます。

・地域交流は、運営推進会議を通じて地域コミュニティーに参加することより関係を広げていきたいと考えています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成21年11月11日	評価機関 評価決定日	平成21年12月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

◇法人の理念である、「家庭的な雰囲気の中で、心のこもった介護の提供」をベースに、事業所独自の理念として、「笑顔が毎日みられる安心と、自宅で過ごすような安らぎを大切にします」を掲げて、利用者の日常生活を支え、また介護に当たっている。

◇事業所の南側のフェンス内には、専用の畑があり、利用者と一緒に四季の野菜などを栽培し、収穫物はサラダなどにして食卓に出している。
また、近隣には畑が多く栽培された農作物、ネギやサトイモなどの差し入れがあり、これらも、自分の畑に植え替えて栽培を楽しんでいる。

◇広々とした共有スペースは、全体が見渡せる造りで、職員の目が行き届き安全な介護を実現している。

◇利用者は各居室に大きな仏壇やタンス、TVなど、これまで使用していた馴染みのものを持ち込んで生活している。パソコンの得意な利用者が、居室で写真の編集に取り組んでおり、パソコンの動作上の問題については、PCに精通した職員が丁寧にフォローしていた。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

ミモザ横浜いずみ

事業所名	ミモザ横浜いずみ
ユニット名	ばら

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々の申し送り等にて確認し理念に基づくケアを実践している。	・「笑顔が毎日みられる安心と、自宅で過ごすような安らぎを大切に」の理念を基に、利用者の思いを汲み取り、申し送りやスタッフ会議で検討し、具現化に努めている。	
	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃、近所の方には挨拶を欠かさないように努め、自治会への加入、地域の防災訓練や盆踊り、運動会に参加している。	・散歩の折に出会う近隣の人と挨拶を交わし、畑で採れた野菜や苗をおすそ分けしてもらっている。 ・事業所のイベントには、民生委員の声かけで、地域住民を招待した。	「ミモザ横浜いずみ」の大きな看板を玄関に掲げているが、地域の人の中には何の事業所かを分らない人もいるとのこと。地域との更なるPRが望まれます。
	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	歌謡ショウやマジックショーなどの行事を開催する際、民生委員の方を通して近所の方を招待している。		
	4	3 ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前年度は3回の開催。地域に密着し、利用者が地域の中で生活している実感を持てるように活かしている。	・今年度2回開催、次は12月と3月に開催予定である。 ・地域の夏祭りではホームの利用者席を設けたり、災害時の協力体制を検討するなど、利用者への支援を検討してもらっている。	
	5	4 ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	泉区の担当職員とは研修会の参加や依頼、運営推進会議、ボランティアの依頼などの相談、打合せを頻繁に行っている。	・泉区の行政担当課からは、運営推進会議の発足準備以来、事業所への情報提供、ケアサービスの相談等積極的にサポートがあり、連携を深めている。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1, 2Fの出入り口には防犯上の問題もあり施錠しているが、利用者の人権保護を最優先として、拘束しないケアを実践している。	・身体拘束について職員研修（スタッフ会議の中で30分を当てる）を行い、拘束についての定義と現場のあり方を再確認し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現状、ユニットにて虐待と思われる事例は見当たらないが、ユニット会議、カンファレンスを通して、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修を通して、スタッフ全員に意識付けをしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用契約書及び重要事項説明書について、利用者及びその家族に不安や疑問に対して十分な説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談、苦情対応のフォロー図を壁に掲示し、利用者、家族が管理者や職員に直接違憲を言えるようにしている。また玄関脇にご意見箱を設置している。	・年1回、開催している家族会では、①行事の運営、②外部評価結告、③防災時の備蓄などを議題とし、家族からも提案があり、意見や要望、運営に反映している。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やユニット会議時または連絡ノート等にて職員の意見や提案を聞き、実際の業務やケアに反映させている。	・代表や管理者は、スタッフ会議やユニット会議の前に議題を明確に示し、職員の考えや職場からの発想を積極的に受け止め、ケアに反映させるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力が反映されるよう、給与アップや賞与等があり、またシフト作成の際一人一人が無理がないよう、配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ユニット内にて計画的に研修を行っている。外部研修にはグループホーム連絡会の交換研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の泉・戸塚ブロックの研修会に参加。また地域の催し（盆踊りや防災訓練）にて、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が望んで入居された利用者ばかりでないので、本人の話を傾聴し、様子観察するなかで、一日も早く環境に慣れていただき、なじみの関係になれるよう、心掛けている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居当初は連絡を密にし、家族の不安を取り除くよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活習慣や趣味、嗜好などを伺い、利用者本人、家族が要望されることに沿えるよう、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの暮らしのなかで、出来ることは協力していただき、感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常日頃より利用者の様子を家族に伝え、何か問題が生じた場合は、家族と協議し、その改善策に家族の意見を反映している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が「〇〇さん、今どうしているかな」と尋ねてこられたら、その方との関係やどうい人かを聞いて関係継続を支援している。	・りんごのふるさと便のお礼の電話やパソコンの問い合わせに携帯電話（プリペード）を使うなど、関係性の継続を支援している。 ・仕事の同僚や教え子の面会を推奨している。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方との席の配置に配慮したり、利用者同士でトラブルになりそうな雰囲気の際はさり気なくスタッフがなかに入るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院し、結果退去となっても、家族に許可を得て、見舞いや面会に伺っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の面接や、入居直後の様子などから本人の意向を確認し、出来る限り本人が望む暮らしが出来るよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、利用者との会話や表情から思いや意向を汲み取り、その人らしく生活できるよう努めている。 把握した事項は、申し送りやスタッフ会議で共有し、支援に活かしている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴や居宅でのサービス提供の情報を把握している。また馴染みの家具や食器を持参していただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の意向を尊重しながら、一人一人の体力を考慮しつつ、運動を勧めたり、又は午睡を勧めたりして、一日の過ごし方に気を配っている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から要望を聞きスタッフ参加のケアカンファレンス等にて課題を分析し、よりよく暮らしていただけるよう、介護計画を作成している。	・居室担当制を取り、本人や家族の意見や要望を聞き取り、カンファレンスで検討し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタル、食事量、水分摂取量、排尿・排便状況など日々の生活の様子を記録しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	車を利用して外出や外食、通院時の移送サービス等の支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に協力していただいている。地域の防災会に加入し、講習会、訓練に参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にホームの協力病院の説明をして、協力病院の往診か、家族対応での従来の病院にするかを確認し、適切な医療が受けられるよう支援している。	・かかりつけ医への受診には、家族に付き添ってもらっている。 ・協力医の往診時には、利用者の身体状況を簡条書きにして伝え、適切な医療が受けられるように支援している。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員としての看護師はいませんが、往診時に同行される看護婦さんに色々と相談に乗っていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期に退院できるよう医療機関と相談し、退院許可がでたら、直ちに受け入れられるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化しつつある利用者に対して、家族、主治医と相談し、方針を全員で共有している。	・終末期の医療処置に対する事業所での対応には限界があることを、家族に説明して理解を得ている。 ・急変時や重度化した場合の対応について話し合い、できる限りの支援をしている。	・現在、可能な範囲でのターミナルケアが行われていますが、今後、利用者と家族の意見を取り入れ医療機関と連携して、看取り介護に対する方針を明確化されることが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習や防災訓練の際、消防署の方にAED、消火器の使用方法等の指導を受けている。基礎的な対応はマニュアルにして緊急連絡網とともに整備している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を通して、非難の際、どこが問題になるかを把握し、また地域の防災訓練に参加し、協力体制を築いている。	・今年は5月に避難訓練、10月にAEDの使い方を実施した。 ・夜間の避難について、地域の協力をお願いした。 ・家族の提案で、各居室に防災頭巾と非常食を備蓄している。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者を目上の年長者として、常に尊敬の念を持って接し、言葉遣い、守秘義務に対しても十分に気をつけている。	・個人の尊厳とプライバシーに関して、職員は採用時に徹底した研修を受け、事業所内では職員同士お互いに言動について注意を払って介護に当たっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人にあった声掛けをし、自由に表現出来る雰囲気を作り、言葉や表情から本人の意向に沿った暮らしが出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の利用者のペースを尊重し、制止したり、無理に誘ったりしないよう、自由に暮らしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みに応じた服装や髪型ができる様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根を取っていただいたり、下膳やテーブル拭きなどを手伝っていただいたりして、その際、感謝の言葉を述べて慰労している。	・食事をさらに充実させる試みを続けており、1階のユニットでは週一回利用者の希望を入れた独自の食材や、メニューの機会を設け、食事の楽しみ具合を見守っている。	・ランチョンマットの導入で、利用者による食事の準備、後片付けへの参加促進が検討されており、その実現が期待されます。

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューと食材は外部発注にて、カロリーコントロールをしている。また個人別に食事量、水分摂取量を記録することにより、体調の管理をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自立されている方には声掛けし、介助の必要な方には、出来ることはしていただき、出来ないところを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、さり気なく誘導し失敗を減らすよう心掛けている。失禁時は混乱しないように配慮している。	・利用者、家族の希望で可能な限りオムツを外す努力を続けており、排泄パターンを的確に把握し、無理のない誘導で失敗回数を減らす効果をあげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、便秘がちな利用者は、主治医と相談し適切な処方をしていただくと同時に、水分補給や運動を促す。また朝食にヨーグルトを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	必要や希望に応じて、入浴が出来るようにしている。入浴時間は原則として午後に行っている。	・入浴を好まない利用者に対しては、無理強いせず、本人の希望を取り入れ、より信頼の厚い職員を担当させるなど、きめの細かい対応を心掛けている。	

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はなるべく活動的に過ごしていただき、傾眠や疲れが見られるときは午睡を勧め、夜間眠れない方がいる場合は話し相手になっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬はスタッフが管理し、服薬のタイミングを間違えないように支援している。薬の目的や副作用を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの出来ることを把握し、日常的に場面作りをしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	庭や玄関前のスペースでの外気浴や近所に散歩に出かけている。	・近隣に桜の名所、富士山のよく見える場所などがあり、希望者を車で案内している。 ・事業所の庭や近隣の畑など散歩の道筋で、日向ぼっこなども行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	比較的介護度（認知度）の高い利用者が多く、基本的に、ユニットごとで管理している。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用は利用者にも開放し、自由に掛けられるようにしている。手紙を代読したり、また希望があれば代筆している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な物品を使用し、カレンダーや時計は見やすい位置に置いている。食事時にBGMを流して、落ち着いた雰囲気作りをしている。	<ul style="list-style-type: none"> 共有空間の温度湿度は職員がこまめにチェックし調整している。食卓は利用者の希望を取り入れて配置している。テレビの前は家庭的な雰囲気のソファを配し、利用者の安らぎの場を作り出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬期、利用者の体調管理の観点から、加湿器の増設を検討されていますが、実現が望まれます。
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには食卓のほか、応接セットを置き、利用者の各居室にもそれぞれいすが置いてある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使いなれたものを持参していただけるように利用者本人や家族にお願いしている。	<ul style="list-style-type: none"> 大きな仏壇やTVなど、利用者のなじみのものを居室に持ち込み、自宅に近い雰囲気生活している。 パソコンなどで写真の編集に取り組んでいる利用者もいた。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やリビング、トイレ、浴室、脱衣場には手すりが設置され、また浴室には重度化された利用者用にリフトが設置されている。		

事業所名	ミモザ横浜いずみ
ユニット名	あやめ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々の申し送り等にて確認し理念に基づくケアを実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃、近所の方には挨拶を欠かさないように努め、自治会への加入、地域の防災訓練や盆踊り、運動会に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	歌謡ショーやマジックショーなどの行事を開催する際、民生委員の方を通して近所の方を招待している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前年度は3回の開催。地域に密着し、利用者が地域の中で生活している実感を持てるように活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	泉区の担当職員とは研修会の参加や依頼、運営推進会議、ボランティアの依頼などの相談、打合せを頻繁に行っている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1, 2Fの出入り口には防犯上の問題もあり施錠しているが、利用者の人権保護を最優先として、拘束しないケアを実践している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現状、ユニットにて虐待と思われる事例は見当たらないが、ユニット会議、カンファレンスを通して、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修を通して、スタッフ全員に意識付けをしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用契約書及び重要事項説明書について、利用者及びその家族に不安や疑問に対して十分な説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談、苦情対応のフォロー図を壁に掲示し、利用者、家族が管理者や職員に直接違憲を言えるようにしている。また玄関脇にご意見箱を設置している。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やユニット会議時または連絡ノート等にて職員の意見や提案を聞き、実際の業務やケアに反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力が反映されるよう、給与アップや賞与等があり、またシフト作成の際一人一人が無理がないよう、配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ユニット内にて計画的に研修を行っている。外部研修にはグループホーム連絡会の交換研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の泉・戸塚ブロックの研修会に参加。また地域の催し（盆踊りや防災訓練）にて、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が望んで入居された利用者ばかりでないので、本人の話を傾聴し、様子観察するなかで、一日も早く環境に慣れていただき、なじみの関係になれるよう、心掛けている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居当初は連絡を密にし、家族の不安を取り除くよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活習慣や趣味、嗜好などを伺い、利用者本人、家族が要望されることに沿えるよう、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの暮らしのなかで、出来ることは協力していただき、感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常日頃より利用者の様子を家族に伝え、何か問題が生じた場合は、家族と協議し、その改善策に家族の意見を反映している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が「〇〇さん、今どうしているかな」と尋ねてこられたら、その方との関係やどういった人かを聞いて関係継続を支援している。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方との席の配置に配慮したり、利用者同士でトラブルになりそうな雰囲気の際はさり気なくスタッフがなかに入るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院し、結果退去となっても、家族に許可を得て、見舞いや面会に伺っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の面接や、入居直後の様子などから本人の意向を確認し、出来る限り本人が望む暮らしが出来るよう支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴や居宅でのサービス提供の情報を把握している。また馴染みの家具や食器を持参していただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の意向を尊重しながら、一人一人の体力を考慮しつつ、運動を勧めたり、又は午睡を勧めたりして、一日の過ごし方に気を配っている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から要望を聞きスタッフ参加のケアカンファレンス等にて課題を分析し、よりよく暮らしていただけるよう、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタル、食事量、水分摂取量、排尿・排便状況など日々の生活の様子を記録しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	車を利用して外出や外食、通院時の移送サービス等の支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に協力していただいている。地域の防災会に加入し、講習会、訓練に参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にホームの協力病院の説明をして、協力病院の往診か、家族対応での従来の病院にするかを確認し、適切な医療が受けられるよう支援している。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員としての看護師はいませんが、往診時に同行される看護婦さんに色々と相談に乗っていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期に退院できるよう医療機関と相談し、退院許可がでたら、直ちに受け入れられるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化しつつある利用者に対して、家族、主治医と相談し、方針を全員で共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習や防災訓練の際、消防署の方にAED、消火器の使用方法等の指導を受けている。基礎的な対応はマニュアルにして緊急連絡網とともに整備している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を通して、非難の際、どこが問題になるかを把握し、また地域の防災訓練に参加し、協力体制を築いている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者を目上の年長者として、常に尊敬の念を持って接し、言葉遣い、守秘義務に対しても十分に気をつけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人にあった声掛けをし、自由に表現出来る雰囲気を作り、言葉や表情から本人の意向に沿った暮らしが出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の利用者のペースを尊重し、制止したり、無理に誘ったりしないよう、自由に暮らしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みに応じた服装や髪型ができる様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根を取っていただいたり、下膳やテーブル拭きなどを手伝っていただいたりして、その際、感謝の言葉を述べて慰労している。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューと食材は外部発注にて、カロリーコントロールをしている。また個人別に食事量、水分摂取量を記録することにより、体調の管理をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自立されている方には声掛けし、介助の必要な方には、出来ることはさせていただき、出来ないところを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、さり気なく誘導し失敗を減らすよう心掛けている。失禁時は混乱しないように配慮している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、便秘がちな利用者は、主治医と相談し適切な処方をしていただくと同時に、水分補給や運動を促す。また朝食にヨーグルトを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	必要や希望に応じて、入浴が出来るようにしている。入浴時間は原則として午後に行っている。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はなるべく活動的に過ごしていただき、傾眠や疲れが見られるときは午睡を勧め、夜間眠れない方がいる場合は話し相手になっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬はスタッフが管理し、服薬のタイミングを間違えないように支援している。薬の目的や副作用を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの出来ることを把握し、日常的に場面作りをしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	庭や玄関前のスペースでの外気浴や近所に散歩に出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	比較的介護度（認知度）の高い利用者が多く、基本的に、ユニットごとで管理している。別途金銭を所持して買い物を楽しまれる方もいらっしゃいます。		

ミモザ横浜いずみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用は利用者にも開放し、自由に掛けられるようにしている。手紙を代読したり、また希望があれば代筆している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な物品を使用し、カレンダーや時計は見やすい位置に置いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには食卓のほか、応接セットを置き、利用者の各居室にもそれぞれいすが置いてある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使いなれたものを持参していただけるように利用者本人や家族にお願いしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やリビング、トイレ、浴室、脱衣場には手すりが設置され、また浴室には重度化された利用者用にリフトが設置されている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ミモザ横浜いずみ

作成日 平成21年12月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	日々のレクリエーションが、体操や外気浴など、画一化し、マンネリ気味となっている。	レクリエーションの幅を広げる。	月間のスケジュールをたて、近所の散歩や、外出、外食の日程を決める。歌や百人一首、ドリル等を活用する。	3ヶ月
2	2	地域との交流がまだまだ出来ていない。	地域の方に、ミモザが何をしているところなのかを理解していただく。	ボランティアさんによる歌謡ショーやマジックショーを企画開催し、近所の方も招待して交流を図る。町内会のイベントに積極的に参加する。	1年
3	10	家族会の開催実績が年一回と少ない。	年2回以上の開催と、出来るだけ多くの家族に参加していただく。	年2回以上の開催は、年間スケジュールに組入れ、早めに案内し、予定に入れていただく。多くの家族に参加していただく為にイベントを企画する。	1年
4	33	ターミナルケアの取り組み。	家族の要望に応えられる体制作り。	法人としても、この12月に勉強会をスタートするが、システム（協力病院（医師）との連携）の理解やスタッフの心構えを勉強会で取り上げる。	2,3年
5	40	業者によるメニュー提案、食材搬入で、画一化していないか。	メニュー作りや準備、片付けなど、利用者に参加していただく。	食事会やお誕生日会などのイベントを企画し献立作りから利用者に参加していただく。またカレーライスの日などを設定する。	一部実施しているが、さらに充実させる。

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。